

2017年9月29日(金)-30日(土) 神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント (○)
2. 国際都市神戸と世界の文化 ()
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ ()
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸 (○)
5. その他 ()

[概要]

2017年日本地理学会秋季学術大会（三重大学）でポスター発表を行いました。

1.本校からの発表テーマ

- 016 小学生への減災教育にて・目的に対する影響―神戸に・適する減災教育とは―
- 017 過去の震災を生かした減災教育
- 018 人が生き残ることができる防災教育とは～災害時に働く心理バイアスに着目して～
- 019 山麓地域からの冷気にじみ出し現象の発生条件
- 020 災害時における惨事ストレスの課題と対策
- 021 ジオパーク教育の課題と原因

2.参加の様子

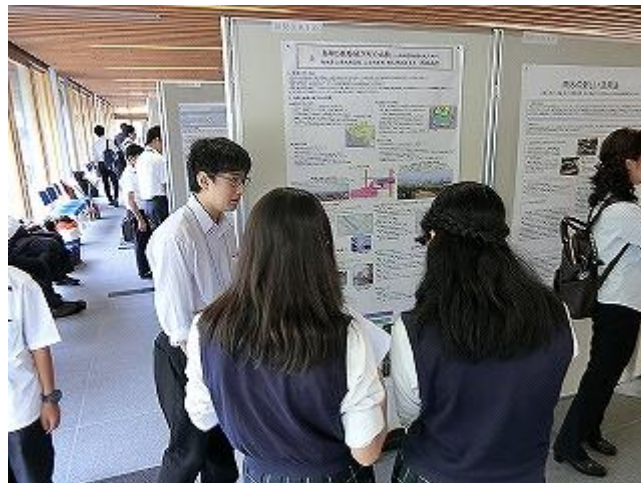


他の高校生の発表を聞きました

ポスター発表



ポスター発表



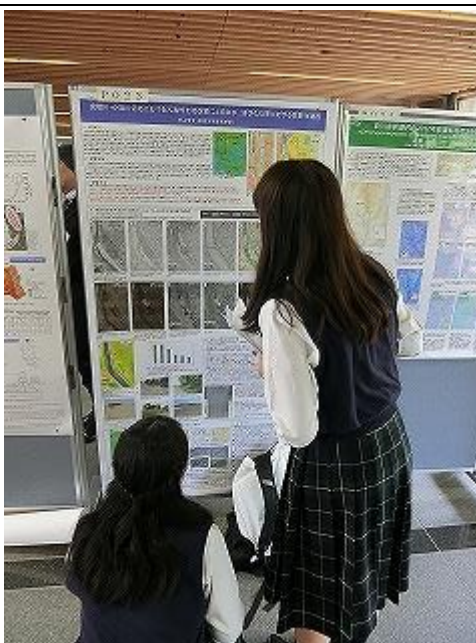
他の高校生の発表を聞きました



ポスター発表



宮城・鳥取の高校生との交流



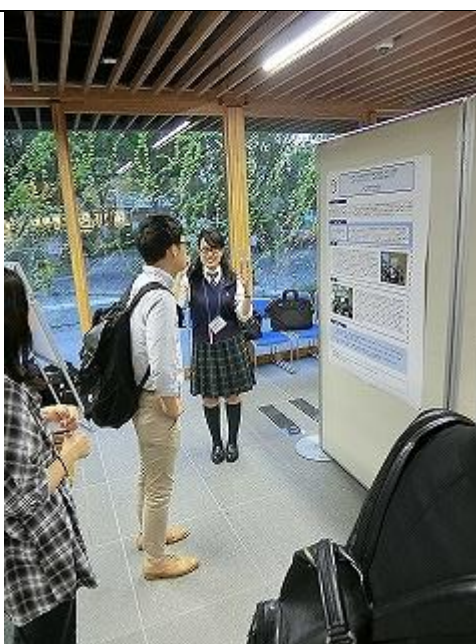
テーマが防災の研究を見つけました



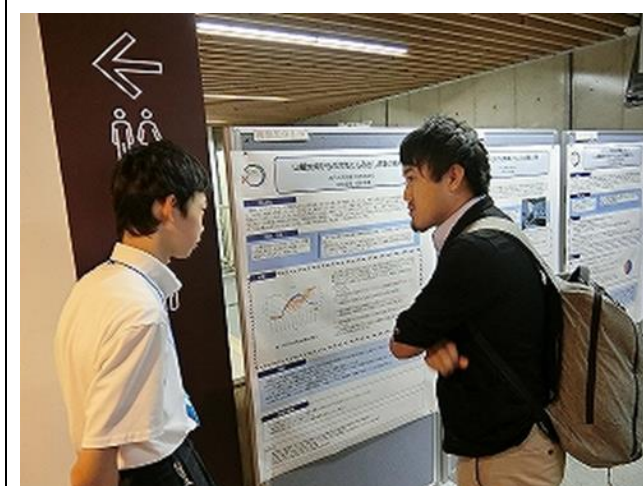
ポスター発表



ポスター発表



ポスター発表



ポスター発表

3.参加生徒の所感

今回日本地理学会に参加して、3点のことを学びました。1点目は研究のやり方です。他の人の研究を聞いていると既に分かっているデータだけでなく自ら復元、解析しているものが多くあった。僕も典型的な研究ではなく、オリジナリティのある研究を目指したいと思いました。2点目はデータ分析のやり方です。今回様々な方から分析方法についてアドバイスをもらうことができ、良い経験になったと思いました。3点目は自分の研究についてです。ポスター発表をしている間には気象を専門にしている人からも多くのアドバイスをもらうことができました。これらを生かして今後の研究をさらに良いものにしたいです。

今回、地理学会に初めて参加させていただきました。高校生のポスター発表では、自分の研究の課題が明らかになりました。多くの研究者の方にアドバイスを頂けて、自分が自分の研究を見ている時には見えなかった盲点の部分に気づくことができたので、参加して良かったと思います。また、周りの高校生の研究にも刺激を受けました。まったく異なるテーマなのですが、どんな風の実証しているのか、その結果の取り方はとても興味深いものでした。同じテーマではないけれど、研究を進めるにあたって悩んでいるところは共通していて、どう改善していくべきか、ディスカッションすることもでき、大変有意義な機会になったと思います。今後、これらの経験を活かし、より良いものを作りたいです。

まず、卒業論文を書くに当たって、知識を豊富に持った方々から、地理の専門的な面からの考えを頂く事が出来ました。それによって、どのように今後の卒業論文を進めるかについて、迷いを抱いていた私に光が現れました。続いて、研究者の方々からの口頭発表を聞く事が出来ました。知識を増やせた事は勿論、発表の技術も学べました。これは、論文作成が終了した後、調査結果発信のため非常に重要な手段です。従って、研究者の方々からの発表方法を学べた事は、とても価値ある事だと思います。最後に、他校生徒との交流です。同年代である高校生との交流は、研究を進めるに当たっての、刺激になると思います。今後、論文作成を行う中でスムーズに進めなくなった時、交流で得た考えなどを有効活用したいと思います。